



豊明市国際交流協会《ティラ》

TIRA

Toyoake International Relations Association

豊明市国際交流協会 機関紙 Vol.22, 15 Jun. 2002

豊明市国際交流協会事務局(豊明市役所企画課内) TEL 0562-92-8318

第 22 号

タイ日親善クラブ歓迎パーティー 4月27日(土)



2002年度豊明市国際交流協会総会 5月11日(土)

海を渡って こんにち輪!

マレーシアから帰国して

マレーシアから帰国して早2ヶ月。今一番恋しいのは屋台の味です。

マレーシアでは共働きの夫婦が多いこともあり、外食が日常の常になっています。実際お腹いっぱい食べても300円でお釣りがくる安さなので、時間のいっぱいある専業主婦でもなかなか家でご飯を作る気になりません。だいたい人がたくさん群がっている屋台の行列に並んでいれば間違いなく十分満足のいく美味しいご飯にありつけます。マレーシアはマレー系、中国系、インド系の3民族からなり、それぞれに特徴のある食文化を持っています。マレーのサテ(焼き鳥に独特のピーナツだれ)、中国のパンミー(きしめん似の麺が特徴)、

インドのロティチャナイ(薄いパンケーキにカレーをつけて食べる)は皆、私の大好物ですが毎週末開かれる夜の市に出かけると全部いっぺんに楽しめます。小さい時から泣きながら辛い味に慣れるというマレーの子供、私も最初は辛くて食べられない物がいっぱいありましたが今では全てが恋しいです。



お友達と夜のごはん
※だれも晩ごはん作ってません

(相羽)

タイ日親善クラブ使節団来日

4月27日(土)~29日(月)

ワクワクしながらホストファミリー



我が家は、私、夫と1歳5ヶ月の息子の3人家族です。私は、学生の頃にホームステイの経験があり、いつか自分もホストファミリーをしたいとずっと思っていました。そして、今回、家族を巻き込んで、ついにそれが実現しました。

初めてホストファミリーとして、ワクワクしながら迎えたお客さんは、タムという私と同世代の女性でした。彼女はタイの日系企業で仕事をしているワーキングウー

マン、おまけに大学院でMBAを勉強中というすごい人でした。2泊3日という滞在はアツという間でしたが、タムと一緒に楽しい3日間を過ごしました。特に、息子の健太郎と仲良くしてくれたのが印象的です。よく遊んでくれて、健太郎もとても喜んでいました。健太郎はタムとお別れの時、泣いてしまいました。タムも泣いていました。健太郎はタムが帰った後、彼女の部屋へ行って彼女を探していました。やはり、お別れの時は悲しいけれど、タイからお客さんを迎えて、一緒に常滑や熱田神宮、ピクニックに出かけて楽しかった！また、あまり上手でない英語で、日本の文化や習慣について説明したりして、良い経験ができたと思います。

私達ができるのは小さな事ですが、もっともっとタイと日本が仲良くなるといいなあと思います。それから、日本に来た外国の方々が、日本を好きになって、また来たいなと思ってもらえるように、このボランティアを続けていきたいです。
(喜田真知子)

初めてのボランティア

TIRA ボランティア入会の第1回目の参加が、4月27日のタイ日親善クラブ使節団の歓迎会でした。今迄一般のボランティアとして救援衣料活動等に参加していましたが、今回は会員として手作りのいなり寿司を持って参加しました。当日会場には10時、もう会員の方が準備を始めていました。テーブルを作り仲間の方が持ち寄った手作りの菓子や料理等、庭に咲いていたと思われる花の一輪差し、豊明市農村環境改善センターの一室が立派なパーティー会場に変身しました。仲間の小さい真心が作り上げた、素晴らしい和を感じました。

ホストファミリーの中に若い子育て中の家族がいたのは驚きでした。ほんの数年前に比べれば、豊明市内で外

国人を見かけるのは珍しくなく、隣にも住んでいる様な昨今。昨年息子の友人(フィリピン人)が自宅にやってきました。3日間でしたが、会話が出来ない私、ゼスチャーと単語の連発でなんとかやりぬけました。インターネットが普及し世界の出来事も知ろうと思えばネットで見える時代であるが、本人と直接話ができるチャンスを逃してしまったのが残念です。

昨年の米中枢同時テロ事件の教訓として、宗教、教育、民族の歴史等いろいろな習慣など、これを機会にボランティアとしてお手伝いさせて頂きながら私自身勉強してゆきたいと思っています。

(事業ボ・大橋)

Dear all in Toyoake

Dear all in Toyoake Aichi, Japan

This is my first time in Japan. I had known about meaning of Aichi that is LOVE only before I came to Japan. So that I quite exciting of the couple days with my host family. Because of I can not speak Japanese at all. However I have the coolest time with them.

I learn to lifestyle of traditional Japanese family which they still keep the old culture but also they open their mind in adapt new culture and technology too. My Host family gave me a chance to join every activity with them, e.g. I learn to cook sukiyaki and yakisoba, watching TV and talk with them at the livingroom and when I went to the MEIJI - MURA Museum, we got there by bus and train.

Unless the great memory and impression that I took from my host family and volunteers, I got a good things such as they are on time, discipline and kindness that I am able to take it to improve myself.

I would like to say "DOOMO ARIGATOO GOZAIMASU" to everyone and especially I have a chance to met everyone.

Finally, I proud to said, if Thailand is my birthplace, Japan is my home that whenever I think to there I feel to warm hearted of home.

Special Thanks : The entire volunteer Toyoake program for your kindly welcome.

Thai-Japanese Friendship Promotion Group for great program.

Miss Sakaorat Akaravuth (Jan)

The 14th Bangkok-Aichi Goodwill Mission 2002

April 27-May 5, 2002

初めて日本に来ました。こちらに来る前に、愛知が愛を意味すると聞いておりました。ホストファミリーとは、とても素晴らしい2日間を過ごしました。私は全く日本語を話せませんが、皆さんとは本当に落ちついた日々を過ごせたと思っています。

古い文化を大切にだけでなく、新しい文化や科学技術をも受け入れる開かれた心を持つ伝統的な日本の家族の暮らしを学ぶことができました。ホストファミリーは色々と活動的に参加する機会をくださいました。例えばすき焼きや焼きソバを作ったりテレビを見たり、そして明治村にバスや電車に乗って行った事を家で話したりしました。

私がホストファミリーやボランティアの方々から頂いた素晴らしい思い出や感動、時間を守ること、規則正しくすること、親切な心に触れて自分自身かえられる気がしました。今回の行事で得た知識や経験、特に大勢の方に会う機会を作って下さった皆様に“どうもありがとうございます”と申し上げます。

最後にタイは私の生れ故郷ですが、私が家庭の温かさを思う時はいつも日本が私の故郷であると自信をもって言えます。

特別感謝をこめて

豊明全てのボランティアの方々へ
あなた方の優しい歓迎に
タイ-日本交流へ
素晴らしい事業計画に

(翻訳：語学ボ 宮)



STUDY

総会& ミニコンサート

5月11日(土)

2002年度総会が、去る5月11日(土)、午後2時より、豊明市文化会館小ホールにて開催されました。

議事では、2001年度の事業報告・決算・2002年度の予算・事業計画・役員を選任の5議案が質疑応答後、可決承認されました。

総会後のミニコンサート・木管五重奏は、アンサンブル ラ・ペルラによる、フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・ホルンの美しい音色に酔いしれる一時でした。



ボランティア研修会

3月2日(土)・10日(日)



ボランティア研修会を3月2日(土)・3月10日(日)の2日間、午後1時から多くの会員の参加を得て開催されました。ふりかえる(つながりに気付く)、つくりだす(つながりを築く)の題材でグループに分かれ、一人ひとりが意見、考えを出し、それに対して否定せず、同じ様な内容をまとめ、分類していく方法・ワークショップを行いました。

この研修会で、ボランティアとして他の人の意見を吸収しつつ自分の意見をまとめて回りの人々とのつながりに気づき、それを築いて行く事を学びました。

COOKING

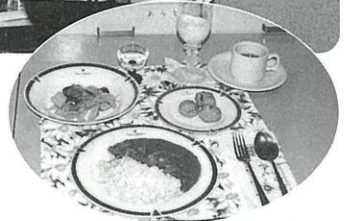
世界の料理教室

5月25日(土)

イタリア料理

講師：日向 昌子さん

5月25日(土)午前10時より世界の料理教室イタリア編が開講されました。当日は講師の日向さんに家庭料理4品を教わり、イタリアの風をチョッピリ味わう事が出来ました。



- ①イカのトマト煮込み ②チャンフォッタ(野菜の煮込み)
③海藻のフリッテッレ ④クリームチーズムース(ティラミス風)

『イタリア料理教室』に参加して

初めて、国際交流協会が企画する料理教室に参加してもらいました。初めは、初対面の方ばかりで緊張しました



が、とても楽しい方ばかりで、和気あいあいと楽しく過ごすことができました。

お料理も、イカのトマト煮込みや、野菜の煮

込みなど、シンプルで素材の良さを生かした、それでいて深い味わいのものばかりで、とてもおいしかったです。家庭でもできるものばかりなので、ぜひ我家でも作ってみようと思います。

講師の日向先生も、チャーミングな方で、イタリア滞在時の色々なお話もきくことができました。また、結婚されてから、イタリアに料理修業に向かった経歴を知り、夢をかなえるための、その行動力にも驚き、感心し、同じ女性として、主婦として、勉強になりました。

とても楽しく有意義な一日を過ごすことができ、自分自身もリフレッシュすることができ、参加して本当に良かったと思います。ありがとうございました。

(近藤恵子)

INFORMATION

今後の事業予定

- 国際理解講座「オーストラリア編（シェパートン市を知る）」
〔6月29日(土) 午後7時から〕
※国際理解講座は今後数回開講の予定
- 夏まつり〔8月3日(土)・4日(日)〕
- オーストラリア中学生受入れ事業〔9月17日(火)～24日(火)〕
- 世界の料理教室（日本料理）外国人対象〔9月中旬〕
- 英会話教室〔9月からの予定〕
- 救援衣料〔11月予定〕
- 国際交流パーティー〔12月21日(土)〕



RECRUIT

I. TIRA 会員募集

2000年4月からボランティアの皆さんにも会員登録をお願いする事になりました。

ご協力よろしくお願いします。

————— 年会費 —————

個人会員（1口）： 2,000円
1,000円（18歳以下）

法人会員（1口）： 10,000円

団体会員（1口）： 5,000円

II. ボランティア募集

会員の皆さんに実際に国際交流活動にご参加いただくため、ボランティア登録をお願いしています。現在のボランティアは下記の7種類です。

- ①ホームステイ、ホームビジット
- ②語学（通訳、翻訳ほか）
- ③事業（行事）
- ④日本語教室
- ⑤広報
- ⑥国際協力
- ⑦日本文化紹介

外国人も喜ぶ 着物着付け体験

外国人と交流をする時、日本の伝統的な文化も紹介します。

その中で「着物着付け体験」はとても喜ばれます。今後それを取り入れて行くためにも、皆様からの着物提供を予定しておりますので、よろしくお願いします。



編集

後記

昨年の夏Seattleへ野球を見に行ってきました。今年はサッカーW杯の為か国民的スポーツ“野球”が影に隠れてしまう今日この頃です。

夏休みが始まれば、全国高校野球大会が始まります。全国でフィーバーする事でしょう。

高校球児頑張って！

(ボ・I)

■ 問い合わせ先

豊明市国際交流協会事務局

〒470-1195 豊明市新田町子持松1-1

(豊明市役所企画課内)

TEL 0562-92-8318 FAX 0562-92-1141